

令和 3 年度事業報告書・収支決算書

令和 4 年度事業計画書・収支予算書



令和 4 年 6 月 13 日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

令和 3 年度

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

事業報告書

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

- (1) 国内・外の状況と活動概況
- (2) 国等への要望活動の強化
- (3) 国内・外への ILC 実現にむけた活動
 - ア. 国内 PR の強化
 - イ. 海外への情報発信強化
 - ウ. 普及啓発活動
 - エ. 岩手 ILC 連携室オープンラボ活用支援
 - オ. 各種刊行物等への寄稿等
- (4) 調査・研究活動
 - ア. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出
 - イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動
 - ウ. ILC ガイドラインシリーズ 7 の発刊
- (5) 広報活動
- (6) 組織強化活動
 - ア. 会員増強
 - イ. 産・学・官・関係機関との連携
- (7) 諸会議等
- (8) 会員加入状況

(1) 国内・外の状況と活動概況

2021 年 6 月、世界の研究者組織である国際将来加速器委員会（ICFA）の下に組織された ILC 国際推進チーム（IDT）が、「ILC 準備研究所提案書」を公表した。

また、国内の研究者コミュニティ（高エネルギー物理学研究者会議）と高エネルギー加速器研究機構（KEK）は、文部科学省有識者会議等で指摘された課題について、課題解決に向けた取り組みの現状や、今後の方策についてまとめた「ILC に関する主な課題について」を文部科学省に提出した。

文部科学省は、国内外の状況を受け ILC 計画全体について、これまでに指摘されている諸課題の進捗などについて、専門的見地からフォローアップの議論を行うとともに、最新の情報を整理するため「有識者会議第 2 期」を再開し、本年 2 月 14 日に議論のまとめを公表した。

有識者会議は、「ヒッグスファクトリーなどの素粒子研究の学術的な意義や分野の重要性を認め、国際共同研究の重要性は理解するものの、国際コミュニティが提案している準備研究所を設立するのは時期尚早と言わざるを得ない。」と提言した。

同年 3 月の国際将来加速器委員会（ICFA）において、KEK と国内研究者コミュニティは、国内外の研究機関が協力し、ILC の共同研究による課題解決や国際的な議論を進めることを提案した。

当推進協議会の令和 3 年度事業は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大を踏まえ、ILC 講演会を 4 月にオンラインで開催し、「ILC の意義や最新の状況、ILC を契機とした地方創生、国際推進チーム（IDT）等の活動状況」をテーマに全国から 700 名を超える参加をいただいた。

また、研究者、KEK など国内の推進団体と国内外の情報収集に取り組み、岩手県 ILC 推進局、東北 ILC 事業推進センターと連携し、ILC の受け入れ態勢の整備・準備活動に積極的に取り組んだ。

また、国民の理解促進のため、先端加速器科学技術推進協議会（AAA）と共同で、ILC 関連図書を全国の図書館や高等専門学校に寄贈するとともに、SNS を利用した広報活動や ILC プロジェクト動画の普及、各種 PR グッズを作成し、ILC の理解と関心を高めることに努めた。

さらに、ILC は学術的意義のみならず、復興支援と将来にわたり「平和と発展のための科学」に貢献する共同施設であり、多分野・多岐にわたる日本に誘致する意義をまとめた「ガイドラインシリーズ 7 ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」を発刊し、ILC 超党派国会議員連、会員をはじめ関連団体に配布するとともに、世界の研究者を対象に「ILC サイト紹介動画」を制作するなど東北から国内外への情報発信に積極的に取り組んだ。

（２）国等への要望活動の強化

①鈴木俊一衆議院議員、藤原崇衆議院議員との ILC 推進打合せ

令和３年６月３０日（水）/衆議院第１・２議員会館事務所

出席：岩手県立大学鈴木学長、東京大学山下特任教授、岩手大学成田教授、猿川事務局長

・国際推進チーム（IDT）の「ILC 準備研究所提案書」の内容を説明し、日本の役割の理解と支援を依頼した。

②増田寛也 ILC100 人委員会代表との ILC 推進打合せ

令和３年７月９日（金）/日本郵政(株)会議室

出席：岩手県立大学鈴木学長、東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・国際推進チーム（IDT）の「ILC 準備研究所提案書」の内容を説明し、今後の ILC の推進について意見交換を行った。

③鈴木俊一衆議院議員との ILC 推進打合せ会

令和３年７月１７日（土）/ホテルメトロポリタン盛岡 NW「メトロポリタンホール」

出席：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、山下東京大学特任教授、岩手県高橋 ILC 推進局長、岩手県大平理事、猿川事務局長

・ILC の最新動向について情報を共有。
・鈴木学長から国際推進チーム（IDT）の「ILC 準備研究所提案書」、６月１９日（金）に開催された CERN 理事会の状況を説明。自由民主党東北ブロック両院総会における ILC に関する説明と ILC の誘致実現への要望を依頼した。

④自由民主党東北ブロック両院総会

令和３年７月２０日（火）/自由民主党本部会議室

出席：岩手県立大学鈴木学長

・鈴木学長が講師として出席し、ILC の意義に関する説明と ILC の誘致実現に向けた活動に対し、東北地域から支援いただくことを依頼した。

⑤小野寺五典衆議院議員・藤原崇衆議院議員との ILC 懇談会

令和３年８月９日（月）/ホテル松の薫一閑「芙蓉の間」

出席：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、岩手県高橋 ILC 推進局長、岩手県大平理事、猿川事務局長

・海外情勢と国内の動向（文部科学省有識者会議）など情報を共有し、東北への予算措置など ILC の誘致実現に向けて、候補地の政・産・学・官の連携について意見交換を行った。

⑥岩手県議会・宮城県議会国際リニアコライダー建設議員連盟勉強会

令和３年８月１２日（木）/アイーナ会議室、オンライン

出席：岩手県議会 18 名、宮城県議会 16 名、仙台市議会 6 名

・来賓として谷村会長と達増知事が出席し、挨拶で ILC の誘致実現への協力を呼びかけた。

講演 ・ILC の最新動向について：山下 了 東京大学素粒子物理国際研究センター特任教授

・東北 ILC 事業推進センターの取組について：鈴木 厚人 岩手県立大学長

⑦ILC 推進打合せ会

令和3年9月24日（金）/ホテルメトロポリタン盛岡本館4階会議室

出席：谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、東京大学山下特任教授、岩手大学成田教授、岩手県高橋 ILC 推進局長、岩手県大平理事、菊池専務理事、猿川事務局長、（鈴木衆議院議員欠席）

・海外や国内（文部科学省有識者会議）の状況について情報を共有し、今後の ILC の誘致実現について意見交換を行った。

⑧鈴木俊太郎財務大臣秘書官との面談他

令和3年10月7日（木）/財務省、衆議院議員会館事務所

出席：東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・9.24ILC 推進打合せ会の報告と今後の ILC の誘致実現に向けた活動について意見交換を行った。
終了後、大平理事、猿川事務局長が衆議院議員会館 鈴木事務所、藤原事務所、小野寺事務所に東北 ILC 事業推進センター幹事会の資料を持参し、候補地で ILC の受入れ態勢の準備を進めていることを報告した。

⑨萩生田光一経済産業大臣への要望

令和3年10月15日（金）/都南キャラホール会議室

出席：谷村会長、菊池専務理事

谷村会長から萩生田経済産業大臣に要望書を手交。

「東日本大震災津波被害からの復興の完遂とポストコロナを見据えた岩手県経済再生に向けて」
・項目：主要プロジェクトの対応等において、「ILC で科学技術立国を担い、アジア初の大型国際科学技術拠点となる国際リニアコライダー（ILC）計画の実現」を要望した。

⑩鈴木俊一財務大臣との ILC 推進打合せ会

令和3年10月17日（日）/ホテルメトロポリタン盛岡本館4階会議室

出席：鈴木俊一財務大臣、谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、東京大学山下特任教授、岩手大学成田教授、岩手県高橋 ILC 推進局長、岩手県大平理事、菊池専務理事、猿川事務局長

・ILC 実現に向けた今後の推進活動について
ILC の最新の状況について情報を共有し、今後の推進活動について意見交換を行った。

⑪経済産業省経済産業局との打合せ

令和3年10月28日（木）/経済産業省8階会議室

出席：経済産業省経済産業局産業資金課：増田 悟課長補佐、産業創造課：岡田茉奈係長
東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・ILC 候補地におけるまちづくりやカーボンニュートラル事業における官民ファンドの組成の可能性について打ち合せを行った。

⑫鈴木俊一財務大臣との面談、岩手県・宮城県選出衆議院議員事務所訪問

令和3年11月12日（金）/財務大臣応接室、衆議院議員会館事務所

出席：東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・海外の状況や議連の体制など、今後の推進活動について意見交換を行った。
岩手県・宮城県選出衆議院議員事務所を訪問し、引き続き ILC の誘致実現への支援を依頼した。

⑬地元選出国議員要望（岩手県商工会議所連合会要望）

令和3年11月19日（金）/岩手県選出衆・参議院議員会館事務所

出席：猿川事務局長

～東日本大震災津波からの復興の完遂と、ポストコロナを見据えた岩手県経済の再生に向けて～

・主要プロジェクトの対応として ILC の早期実現を要望した。

⑭日本商工会議所地域振興部との打合せ

令和3年11月26日（金）/日本商工会議所会議室

出席：日本商工会議所地域振興部宮澤部長、大島課長、土居主事

東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・ ILC 実現による国際化、産業の集積による新たなまちづくりなど地方創生の効果等について意見交換を行った。

⑮鈴木俊太郎財務大臣秘書官との打合せ

令和3年12月3日（金）/衆議院議員会館事務所

出席：東京大学森教授、東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・ ILC の国内外の状況と予定（文部科学省有識者会議と ICFA）について説明し、情報を共有した。

⑯日本経済団体連合会、経済同友会との打合せ

令和3年12月20日（月）/経団連会議室、経済同友会会議室

出席：経団連 吉村産業技術本部長

同友会 齋藤執行役

東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

・ ILC を取り巻く状況及び ILC の価値について説明し、意見交換を行い、経済3団体の ILC 誘致実現への支援を依頼した。

⑰岩手県南・宮城県北 ILC 誘致推進大会

令和3年12月24日（金）14：00～16：15/一関市文化センター大ホール

発起人：ILC 実現を熱望する会、登米市 ILC 誘致推進協議会、気仙沼市、一関市

激励メッセージ：小野寺五典衆議院議員、庄司賢一衆議院議員、木戸口英司参議院議員、横澤高德

参議院議員、飯澤岩手県議会 ILC 建設議員連盟会長

参加者：約400名（猿川事務局長参加）

基調講演1 「ILC の最新動向について」

ILC 推進パネル委員長 山下 了 氏

基調講演2 「東北における ILC の取組状況について」

東北 ILC 事業推進センター代表 鈴木 厚人 氏

「大会宣言採択」

⑱増田寛也 ILC100 人委員会代表との打合せ

令和4年3月28日（月）/日本郵政(株)会議室

出席：ILC100 人委員会代表 増田寛也 日本郵政(株)代表取締役社長

岩手県立大学鈴木学長、東京大学山下特任教授、岩手県大平理事、猿川事務局長

- ・海外の状況や議連の体制など、今後の ILC 誘致実現への推進活動について意見交換を行った。

【参考】

日本商工会議所三村会頭が「新しい資本主義実現会議」にて ILC 誘致実現を提言。

令和 4 年 3 月 8 日（火）/首相官邸大会議室

- ・ 構成員 議長：岸田文雄総理、副議長：山際大志郎経済再生担当大臣、松野博一官房長官、鈴木俊一財務大臣ほか閣僚参加。委員 17 名
- ・ 三村会頭発言：『カーボンニュートラルと ILC』

国際リニアコライダー（ILC）の東北誘致への取組について「新しい資本主義・デジタル田園都市国家構想・震災復興のシンボルとなるべきプロジェクトである」と指摘。「早期に省庁を超えた高次元の政治判断を図り、国際協議開始の意思表明を発出していただきたい」と発言された。

日本商工会議所「会議所ニュース」3.21 発行の 1 面に掲載され、全国の商工会議所に配布された。

（３）国内・外への ILC 実現に向けた活動

ア. 国内 PR の強化

① ILC 推進連絡会による活動：ILC 推進団体の連携

ILC 推進連絡会は、ILC の連携推進体制の強化のため、研究者、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、岩手県 ILC 推進局、東北 ILC 推進協議会、東北 ILC 事業推進センター、岩手県 ILC 推進協議会で組織され、国内外の推進状況の情報共有と ILC 超党派国会議員連盟の活動や要望活動、オールジャパン体制での広報活動などを行った。

推進連絡会は月 2 回開催（第 21 回～第 46 回）：於 リモート会議

国際推進チーム（IDT）の提案、国内研究者コミュニティによる文科省へのとりまとめ、第 2 期有識者会議の状況など、ILC を取り巻く国内外の状況を共有した。

○ ILC プロジェクト動画の PR

令和 2 年 1 月 31 日から先端加速器科学技術推進協議会（AAA）の HP と高エネルギー加速器研究機構（KEK）の YouTube チャンネルで公開した ILC プロジェクト動画の視聴状況を ILC 推進連絡会で共有し、各推進団体と PR に努めた。

タイトル 「日本が変わる 世界を変える 国際リニアコライダー（ILC）」

～世界をリードする科学と社会の国際モデルを目指して～

フルバージョン（25 分） ショートバージョン（5 分）

視聴回数 フルバージョン 8,043 回 ショートバージョン 5,024 回

合計 13,067 回（令和 4 年 3 月 31 日現在）

イ. 海外への情報発信強化

① スロベニア共和国アナ・ポラック＝ペトリッチ駐日特命全権大使来県への対応

日 時 令和 3 年 4 月 22 日（木）10：10～10：50

場 所 岩手県第一応接室

出席者 達増知事、谷村会長、岩手県立大学鈴木学長、岩手大学・岩手県立大学吉岡客員教授ほか

谷村会長から ILC を「子供たちの夢やあこがれを育み、未来をつくる国際プロジェクト」として推進しており、ILC は、「震災からの復興のシ



ンボルであり、東北は科学の面で世界からの復興支援に応えたいと願っている。」と発言し、支援を依頼した。

- ・(地独) 岩手県工業技術センター等の視察 11:00~12:30
- ・岩手県 ILC 関係者との意見交換会 13:00~14:45

②国際スクール「Iwate Collider School in 安比」(共催)

高い専門性や国際的通用性を持つ若手研究者の育成を目的とした実習形式のスクールが開催された。現地参加 27 名を含む、22 カ国から約 200 名が参加。

主催：高エネルギー加速器研究機構 (KEK)、岩手大学

日時：令和 4 年 3 月 21 日(月・祝)~3 月 26 日(土)

場所：ホテル安比グランド (現地・オンライン開催)

参加者：大学院生、若手研究者

③ILC 英語版広報誌「THE KITAKAMI TIMES」の発刊(当協議会 HP 内)

海外の研究者等へ ILC の候補地である北上サイトや岩手県内の観光やイベント情報、ILC 実現に向けた地域の取組等を英語版の広報紙としてウェブ上に掲載し、北上サイトに対する理解や機運醸成に努めた。

令和 3 年 4 月 1 日~令和 4 年 3 月 31 日 118 刊~140 刊(23 刊)発刊。

④ILC サイト紹介動画の制作

海外の研究者等に建設候補地周辺地域の日常、風景、暮らしを知ってもらうための地域紹介動画を制作、PR カードの作成・配布や各推進団体等の SNS により周知を行った。

タイトル 『Iwate prefecture : The ILC candidate site』

ウ. 普及啓発活動①. 公開講演会等

①ILC 公開講演会(オンライン開催)

日時 令和 3 年 4 月 28 日(水) 13:30~15:15

会場 ホテルメトロポリタン盛岡 NW「メトロポリタンホール」

内容「国際推進チーム IDT の活動状況」

講師：国際推進チーム IDT WG2 リーダー

高エネルギー加速器研究機構 応用超伝導加速器センター長
道園 真一郎 氏

「受け入れ環境整備を進める東北 ILC 事業推進センター」

講師：東北 ILC 事業推進センター 代表

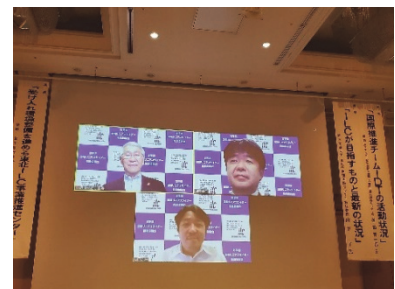
岩手県立大学長
鈴木 厚人 氏

「ILC が目指すものと最新の状況」

講師：ILC 推進パネル 委員長

東京大学素粒子物理国際センター 特任教授
山下 了 氏

・22 都道府県から参加があった。一関市等でサテライト会場や全国の大学の参加等、多数の参加があり、参加者数は 780 名。



・講演内容は HP から発信し、総数 487 回の視聴。(3 月 31 日現在)

ウ. 普及啓発活動②. 学生向け講演会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催なし。

ウ. 普及啓発活動③. その他（後援・協力等）

①「グリーン ILC セミナー」(岩手大学第 20 回加速器科学連続セミナー) (後援)

令和 3 年 10 月 15 日 (金) 13:00~29 日 (金) ~12:00 オンライン配信

主催：岩手県/岩手大学

講演：「グリーン ILC の取組み」

講師：高エネルギー加速器研究機構 名誉教授 吉岡 正和 氏

講演：「一関市バイオマス資源利用によるまちづくりについて」

講師：(株)NTT ファシリティーズカスタマーソリューション本部

環境エネルギー事業推進部 担当課長 上田 里絵 氏

講演：「家畜排せつ物等のバイオマス利用について」

講師：(株)アーク牧場 事業部農政部部長 田村 透 氏

講演：「伐採から造林までの一貫した生産システム」

講師：(有)二和木材 代表取締役 小笠原 清貴 氏

②「東北 ILC 推進協議会 ILC 講演会」(共催) (参加者 約 160 名)

令和 3 年 11 月 25 日 (木) 13:50~15:00 於：オンライン開催

主催：東北 ILC 推進協議会

共催：(一社)先端加速器科学技術推進協議会 (AAA)、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコライダー推進協議会

講演：「ILC の学術的意義とイノベーション～唯物論から唯空論へ～」

講師：東京大学素粒子物理国際センター長 浅井 祥仁 氏

③VACUUM2021 真空展「国際リニアコライダー計画展」

令和 3 年 11 月 30 日 (火) ~12 月 3 日 (金)

於：東京ビッグサイト (東京都)

主催：日本真空工業会、日本表面真空学会、日刊工業新聞社

来場者数：延べ 21,796 名

内容：岩手県・関係自治体、関連機関と連携して実施。

超伝導加速器空洞大型ポスター展示、ILC リーフレットや観光パンフレットによる北上サイト周辺自治体の PR を行った。

同時開催：洗浄総合展、先端材料技術展、スマートファクトリーJapan 展、高精度・難加工技術展、表面改質展、防災産業展



④「東北 ILC 推進協議会 ILC 講演会」(共催) (参加者 約 140 名)

令和 4 年 2 月 18 日 (金) 13:30~14:50 於：オンライン開催

主催：東北 ILC 推進協議会

共催：(一社)先端加速器科学技術推進協議会、東北 ILC 事業推進センター、岩手県国際リニアコ

イダー推進協議会

講演：「素粒子物理学と量子コンピュータ・AI～ILCとイノベーションを考える～」

講師：東京大学素粒子物理国際センター助教 飯山 悠太郎 氏

エ. 岩手 ILC 連携室オープンラボ活用支援

・平成 30 年 4 月、ILC の中核部品であるクライモジュールの実機の展示や ILC の関連情報を集約して、ILC への参入を目指すものづくり事業者や興味を持つ児童、先生など誰もが学習・研究できる拠点として岩手県先端技術研究センター内に開設。

見学者 15 団体 227 名

(令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)



オ. 各種刊行物等への寄稿等

- ・令和 3 年 4 月 23 日 日本経済新聞 27 面 経済教室 「私見 卓見」に「次世代加速器を復興支援に」と題し、「東北は『世界とつながる地方創生』を掲げ、科学面で貢献し、世界からの復興支援にいたい。」と寄稿。
- ・「岩手経済研究」2 月号 「シリーズ ILC への期待と課題」(第 27 回) 寄稿。

(4) 調査・研究活動

ア. ILC に関連する加速器関連産業への理解と参入機会の創出

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会他と連携したセミナー

①第 1 回 ILC 技術セミナー (後援)

令和 3 年 6 月 30 日 (水) 13:30～／於：プラザおでって

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学・岩手県立大学・岩手医科大学

内容：「ILC の最新動向について」

大平 尚 氏 (岩手県理事)

「技術移管 (Knowledge Transfer) における東北 ILC エコシステム」

平井 貞義 氏 (NTT ファシリティーズカスタマーソリューション本部
街づくり推進部 東北担当部長)

「ILC クライモジュールの組立と輸送計画」

山本 康史 氏 (高エネルギー加速器研究機構応用超伝導加速器センター准教授)

②第 2 回 ILC 技術セミナー (後援)

令和 3 年 8 月 25 日 (水) 14:00～／於：盛岡市産学官連携研究センター、WEB 開催

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学 (幹事)・岩手県立大学・岩手医科大学

内容：「人類が扱ったことのないもの、はやぶさ 2 帰還試料の顕微有機物分析」

大東 琢治 氏 (分子科学研究所極端紫外光研究施設 UVSOR 助教)

③第 3 回 ILC 技術セミナー (後援)

令和 3 年 10 月 18 日 (月) 13:30～／於：Web 開催

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学・岩手県立大学・岩手医科大学 (幹事)

内容：特別講演「世界一の地域医療をめざして」

小川 彰 氏（岩手医科大学 理事長）

「ILC が目指す素粒子の謎」

奥村 健一 氏（岩手医科大学 教養教育センター 准教授）

④第4回 ILC 技術セミナー（後援）

令和3年12月22日（水）13:30～／於：Web 開催

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学・岩手県立大学（幹事）・岩手医科大学

内容：「ILC を契機とした持続可能な地域・まちづくり構想」

狩野 徹 氏（岩手県立大学 副学長）

「Green ILC の基本方針」

吉岡 正和 氏（岩手県立大学 客員教授）

「企業の活動紹介」

岩淵 力也 氏（NPO 法人ケアセンターいこい 理事長 一関糧運(株) 代表取締役）

⑤第5回 ILC 技術セミナー（後援）

令和4年2月15日（火）14:00～／於：Web 開催

主催：いわて加速器関連産業研究会・岩手大学・岩手県立大学・岩手医科大学

内容：「ILC 誘致の状況と未来の展望」

高橋 勝重 氏（岩手県 ILC 推進局 局長）

「加速器施設、原子力施設における放射線管理について

～知っておきたい放射線と原子力の知識～」

寺門 淳一 氏（(株)アトックス東海営業所 品質保証・放責・衛生管理者）

イ. 東北 ILC 事業推進センターの活動

東北 ILC 事業推進センターは、ILC 国際推進チームはじめ研究者コミュニティと密接な連携の下、建設候補地周辺の関係機関が協働して建設に必要な条件整備等について、地域が主導して検討を進めることを目的としている。

構成団体：岩手県、宮城県、仙台市、盛岡市ほか候補地周辺自治体、東北大学、岩手大学、

岩手県立大学、岩手県 ILC 推進協議会 22 団体

連携機関：先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 推進協議会

協力機関：高エネルギー加速器研究機構（KEK）

代表：岩手県立大学鈴木厚人学長

検討項目：1. 地形・地質調査、施設配置検討 2. 物流、組立拠点の研究・検討 3. まちづくり、受入環境整備に向けた検討 4. 地域住民の理解促進活動 5. 地域に人材を呼び込む方策の検討 6. 加速器関連産業の振興方策の検討 7. ILC 立地に係る自然環境調査についての検討 8. 法規制や地域振興策等国に求める施策等への取組検討 9. 国際学会のブース出展等

会議等

東北 ILC 事業推進センター会議

毎週火曜日 9:00～10:00／岩手県立大学アイーナキャンパス学習室

メンバー：岩手県立大学鈴木学長、岩手大学・岩手県立大学吉岡客員教授、岩手大学成田教授、東

北大学京谷教授、東北大学佐貫准教授、岩手大学早野客員教授（KEK）、岩手県 ILC 推進局、岩手県 ILC 推進協議会

- ・国内外の ILC の状況についての情報共有と各部会活動の進捗や課題等について協議。

令和 3 年度総会

令和 3 年 5 月 20 日（木）／書面決議

議事

- （1）令和 2 年度事業報告及び収支決算の承認について
- （2）令和 3 年度事業計画及び収支予算の決定について

報告

- ・新規入会について

第 1 回幹事会

令和 3 年 5 月 13 日（木）14：00～15：30／オンライン開催

情報提供 ILC の最新動向について

議題

- （1）総会提出議案について
- （2）総会の書面開催について

第 2 回幹事会

令和 3 年 10 月 4 日（月）10：00～12：00／オンライン開催

情報共有

- ・「ILC の最近の動向等について」

高エネルギー加速器研究機構理事 岡田 安弘 氏

議題

- （1）今年度の部会の活動状況について
- （2）ILC を契機としたまちづくり共同研究の事業概要等について

第 3 回幹事会

令和 4 年 1 月 14 日（金）14：00～16：00／オンライン開催

議題

- （1）令和 4 年度事業の基本的考え方等について
- （2）今年度の部会の活動状況について
- （3）令和 3 年度予算の執行状況について

第 4 回幹事会

令和 4 年 3 月 24 日（木）10：00～12：00／オンライン開催

協議

- （1）令和 3 年度の事業実績と決算見込みについて
- （2）令和 3 年度支出予算執行残額の返還について
- （3）令和 4 年度事業計画（素案）及び予算（素案）について

ウ. ILC「ガイドラインシリーズ7 ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」発刊

ILC を学術の観点からだけでなく、国家プロジェクトとして捉え、ILC を日本がホストすることで得る国際的信頼と科学技術外交、人材の育成、イノベーションの創出と産業の発展、新たな地方創生と震災からの復興など、多岐にわたる日本誘致が生み出す価値を東北から発信するため、「ガイドラインシリーズ7 ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」としてまとめ、3,000 部発刊し、ILC 超党派国会議員連、経済団体等、当協議会会員に配布した。

1 ILC ホスト国としての国際的信頼と科学技術外交

『世界に貢献し世界をリードする国へ』

- ・日本が世界に尊敬され、リードする国に！ 求める国から求められる国へ！

『Science for Peace』

- ・日本の ILC を通じて世界平和に大きく貢献

2 世界の科学の発展と人材の育成

『宇宙の真理にいたる新しい道筋の発見』

- ・日本初、世界へ新しい科学を創造し、世界の科学の発展に貢献

『人材の育成、頭脳流出から頭脳流入へ』

- ・子供たちに夢と希望、挑戦する意欲を与える ILC

3 イノベーションの創出と産業の発展

『世界最先端の知と技術の集積によるイノベーションの創出』

- ・「科学技術立国日本」から世界に波及するイノベーションの創出

『広範な産業の集積と発展』

- ・科学技術産業の集積による飛躍的な産業の発展へ

4 新たな地方創生と震災からの復興

『国際都市エリアの誕生』

- ・日本から世界に発信する国際都市エリアの誕生

『世界とつながる地方創生』

- ・ILC を契機とした世界とつながる新たな地方創生

『東日本大震災からの真の復興』

- ・震災からの復興のシンボルとなる ILC

(5) 広報活動

① ILC 誘致実現支援自動販売機」の継続設置

みちのくコカ・コーラボトリング(株)様のご協力を得て、売上の一部が ILC の誘致実現の活動（当協議会の活動等）に寄付される自動販売機を県内 3 か所に継続して設置している。



盛岡市（マリオス 3F）



奥州市（ダイコー壺番館）

②PR 用 ILC クリアファイルの作成・配布

ILC クリアファイル 6,000 枚を岩手県等自治体と合同で作成し、イベント等で配布した。

③ILC ポケットティッシュの作成について

「ILC ポケットティッシュ」を作成し、各イベントで配布した。

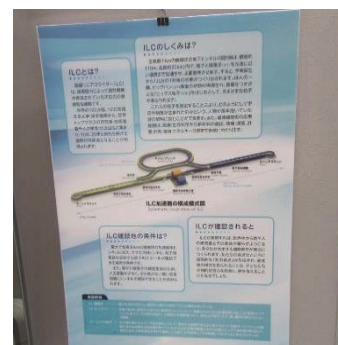
④ILC ピンバッジの作成

岩手県内市町村等に配る「ILC ピンバッジ」を岩手県 ILC 推進局と共同して作成した。

⑤地形ジオラマの展示・貸出

これまでに作成した広報用ツールを活用し、各種イベント等に出展等を実施した。

※当協議会で制作の展示用パネル、地形ジオラマは岩手 ILC 連携室「オープンラボ」内に展示中



⑥イメージキャラクター「ILC そばっち」の活用

ILC への親しみやすさや岩手県が候補地であることのイメージの醸成のため、平成 27 年度に作成。当推進協議会会員等関係機関において広報物等に利用されている。

提供数：3 件（令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）



⑦ILC 関連書籍の寄贈

先端加速器科学技術推進協議会（AAA）と共催し、同協議会前事務局長 有馬 雅人氏 著作の「日本発宇宙行き 国際リニアコライダー」講談社出版の書籍を全国の図書館 1,850 カ所、高等専門学校 57 カ所に寄贈し、ILC への理解を広めた。

⑧SNS 研修

先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、東北 ILC 推進協議会と SNS を使った発信の充実のため、SNS スクールを開催。岩手県 ILC 推進協議会と岩手県、一関市、奥州市、盛岡市 ILC 広報担当が受講。各 SNS の特性やアプローチの仕方が主な内容。各団体の今後の SNS による ILC 関連の発信強化を図った。

⑨経済団体機関誌による ILC の広報活動

令和 3 年 7 月から「ILC current topics」として ILC の最新の動向についての情報を提供し、各経済団体の機関誌に掲載。各会員への周知活動により、関心を高めた。

掲載紙 盛岡商工会議所「SANSJ」

岩手県中小企業団体中央会「NEXUS」

岩手県産業振興センター「産業情報いわて」

岩手経済同友会「いわて経済同友」

岩手県商工会連合会「商工会いわて」
岩手経営者協会「いわて経協」

(6) 組織強化活動

ア. 会員増強

・法人・団体会員は 15 会員の減（新規加入 1、退会 13）、個人会員 2 会員の減（新規加入 1、退会 4）。会員状況については別掲。

イ. 産・学・官・関係機関との連携

■先端加速器科学技術推進協議会（AAA）との連携

①総会

令和 3 年 6 月 21 日（月）／書面決議

議事 2020 年度事業報告・決算、2021 年度事業計画・予算、役員選任について

②理事会

第 38 回理事会 令和 3 年 5 月 18 日（火）／書面決議

議事 2021 年度通常総会議案の件
事務局長任命の件

■東北 ILC 推進協議会との連携

①総会

令和 3 年 5 月 20 日（木）／オンライン

議事 令和 2 年度事業報告・決算、令和 3 年度事業計画・予算、
ILC の日本誘致に関する決議（案）について

講演 「ILC 日本誘致への取組について」

講師 高エネルギー加速器研究機構 山内 正則 機構長

②第 1 回幹事会

令和 3 年 4 月 20 日（火）／書面決議

議事 令和 3 年度総会等の議事について（案）

③第 2 回幹事会

令和 4 年 3 月 23 日（水）／オンライン

議事 令和 3 年度事業報告及び決算見込みについて
令和 4 年度事業計画の方向性案、予算案について

■いわてまるごと科学館実行委員会との連携

①第 1 回実行委員会

令和 3 年 5 月 10 日（月）／於：エスポワールいわて

概要 役員選任、事業報告・収支決算、事業計画・収支予算（案）等について

■岩手県 ILC 推進局との連携

①連絡会議

- ・毎月1回、相互の活動状況や今後の活動計画等について意見交換を実施。

(7) 諸会議等

■役員会

①第1回役員会（※終了後、講演会を開催）

令和3年6月24日（木）13:30～14:00／於：ホテルメトロポリタン盛岡 NW

議事（1）令和2年度事業報告並びに収支決算について

（2）令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

講話「ILCの国内外の状況について」

東京大学素粒子物理国際研究センター特任教授 山下 了 氏

■幹事会

①第1回幹事会

令和3年6月14日（月）13:30～14:20／於：盛岡商工会議所

議事（1）役員会提出議案について

■監査会

令和3年6月14日（月）14:30～15:00／於：盛岡商工会議所

令和2年度会計監査について

(8) 会員加入状況（令和3年3月31日現在）

合計572会員（法人・団体509会員、個人63会員）

※15会員減：年度当初 587会員（法人等522、個人65）

令和3年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支決算書

自)令和3年 4月 1日

至)令和4年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項 目	決算額	予算額	対比増減(△)	備 考
1. 会費	11,130,000	10,650,000	480,000	
(1)法人会費	10,860,000	10,400,000	460,000	予算:472会員/520口 → 決算:489会員/543口
(2)個人会費	270,000	250,000	20,000	予算:50会員/50口 → 決算:50会員/54口
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3. 雑収入	1,686,217	354,233	1,331,984	ILCクリアファイル負担金34万、ILC関連グッズ負担金87万、寄附金(みちのくコカ・コーラ共生会)20万、ILC支援自動販売機売上3万、決算利息 ほか
4. 繰越金	10,815,767	10,815,767	0	
合 計	24,131,984	22,320,000	1,496,840	

■支出の部

(単位:円)

項 目	決算額	予算額	対比増減(△)	備 考
1. 事業費	8,197,827	17,450,000	△ 9,252,173	ILCクリアファイル、ピンバッジ等啓発グッズ代 160万 東北ILC事業推進センター負担金 150万 ILCサイト紹介動画制作費 128万 ILC関連書籍配布関連負担金 80万 講演会等開催費 75万 HP運営管理費 44万 ILCガイドラインシリーズ7印刷費 33万 SNSスクール負担金 27万 報告書印刷費 29万 ILC国際スクール(Iwate collider school)負担金 20万 オンライン対応備品費 16万 関係団体会費 10万 …ほか
2. 会議費	115,678	300,000	△ 184,322	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	1,538,886	1,750,000	△ 211,114	
(1)旅費	0	50,000	△ 50,000	
(2)印刷費	77,752	200,000	△ 122,248	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	261,134	300,000	△ 38,866	事業報告書・講演会案内等配送料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	81,525	150,000	△ 68,475	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	0	2,670,000	△ 2,670,000	
合 計	9,933,916	22,320,000	△ 12,386,084	

次年度繰越

14,198,068

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日

(単位:円)

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	14,198,068	流動負債	0
現金	0		
預金	14,198,068		
未収金	0		
固定資産	0	未処分剰余金	14,198,068
		当期剰余金	14,198,068
合 計	14,198,068	合 計	14,198,068

財 産 目 録

令和4年3月31日

■資産の部

(単位:円)

1. 現金	0
2. 普通預金	14,198,068 (岩手銀行)
3. 未収金	0

資産合計	14,198,068
-------------	------------

■負債の部

(単位:円)

負債合計	0
-------------	---

差引正味財産	14,198,068
---------------	------------

令和３年度会計監査報告書

岩手県国際リニアコライダー推進協議会の令和３年度収支決算について監査をいたしましたところ、収入、支出ともに諸帳簿及び関係書類等と適合し、適正かつ正確に処理されていることを確認いたしましたので、ここに報告いたします。

令和４年５月３０日

岩手県国際リニアコライダー推進協議会

監事 熊谷 敏裕



監事 瀬川 浩昭



令和4年度事業計画（案）

2022年4月、世界の研究者組織（ICFA）は、「素粒子物理学の科学的目標を実現する最優先事項としてヒッグスファクトリーが重要とし、国際推進チーム（IDT）の枠組みを継続、研究機関の国際協力をさらに強化し、幅広い支援の獲得に注力する。また、政府間の国際的な議論を評価するため、今後1年間の国際的議論を注意深く見守る」とのステートメントを公表しており、日本における ILC の誘致実現に向けては、ここ1年間の活動が非常に重要になっている。

当推進協議会は、国内外の動向に臨機に対応するため、その動向を注視しつつ ILC 超党派国會議員連盟や ILC 推進関係団体、経済3団体との連携を強化し、省庁横断による国家プロジェクトとして日本主導による国際的な議論を推進するよう国等への要望活動を強化する。

また、研究者に協力し、地域が主体となって具体的な調査・検討を積極的に進めている東北 ILC 事業推進センターと連携し、受け入れ態勢の整備や準備活動に取り組むとともに、多分野・多岐にわたる ILC の波及効果をまとめた「ガイドラインシリーズ7 ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」をはじめ、「ILC による地域振興ビジョン」（岩手県）や「地球村創生ビジョン」（一社・国土計画協会）の提言等を活用しながら、ILC を契機とした新たな地方創生への理解の促進と ILC 誘致を契機としたまちづくり等の推進に努める。

さらに、国民全体の盛り上がりが不可欠であることから、岩手県から東北、全国、世界に広げる講演会等各種の活動を切れ目なく展開するなど、ILC の誘致実現を岩手県、ILC 関係団体と万全を期して取り組む。

（１）国等への要望活動の強化

- 岩手県、東北 ILC 推進協議会等と連携した要望活動
- 岩手県国際リニアコライダー推進協議会による要望活動
- 政産官学連携による要望活動
- リニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟、自民党 ILC 誘致実現連絡協議会との連携強化
- 経済3団体（日本商工会議所、日本経済団体連合会、経済同友会）との連携強化

（２）国内・外への ILC 実現にむけた活動

■国内 PR の強化

ILC の連携推進体制の強化のために研究者、高エネルギー加速器研究機構（KEK）、先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、岩手県、東北 ILC 推進協議会等で構成される ILC 推進連絡会によるオールジャパンとしての活動に積極的に参画する。

さらに関係団体が一体となり、新聞等メディア等への働きかけや ILC ポータルサイトである AAA: ILC プロジェクトの発信強化並びに推進団体が連携した SNS による情報発信等、全国への普及啓発に取り組む。

また、コロナ禍において、当協議会が主催の講演会は ILC 推進団体と共催により、オンラインなどで全国から参加を促すとともに、YouTube チャンネルの活用により全国に講演内容を発信するなど国内 PR を一層強化する。

■海外への情報発信強化

当推進協議会 HP 内「THE KITAKAMI TIMES」等を活用して、ILC 実現に取り組む情報や北上サイトの魅力などを世界に向けて積極的な情報発信を行う。

世界の研究者を対象とした「ILC サイト紹介動画」の発信や「ガイドラインシリーズ7 ILC 日本誘致が生み出す『価値』と『未来』」の英語版を作成し、国際学会等で配布するとともに、HPから世界に発信する。

さらに、海外要人、研究者等の視察受入、国際スクール「Iwate Collider School」の開催等の機会を有効に活用し、海外への情報発信に努める。

■普及啓発活動

ILC の最新動向や価値、東北 ILC 事業推進センターの活動等をテーマとした講演会を開催し、県民、国民全体に ILC 計画の理解促進と啓発に取り組む。

小・中学生を対象としたセミナー、岩手県が主催する「まるごと科学館」等の県内イベントに関係団体等と連携して出展を行う。

また、「KEK 一般公開デー」や全国イベントである「VACUUM2022 真空展」等、県外でのイベントにも積極的に参画する。

■岩手 ILC 連携室オープンラボの施設拡充・活用支援

ILC の情報発信拠点、ILC を契機とした産業、人材育成、研究開発の拠点として、平成 30 年 4 月に岩手県先端科学技術研究センター内に開設。令和 4 年度は、研究拠点として施設を拡充する ILC オープンラボの支援と積極的な活用を行う。

(3) 調査・研究活動

■岩手県、いわて加速器関連産業研究会と連携して、ILC への加速器産業等参入機会の創出やネットワーク構築の支援に取り組む。

■東北 ILC 事業推進センターの活動支援

東北 ILC 事業推進センターは、研究者コミュニティに協力し、ILC 建設候補地周辺の環境整備や研究施設建設等に関し、地域主体で取り組むべき現地課題の検討に取り組んでいる。東北施設計画の調査・検討やまちづくり、ILC の技術移転等の産業振興、グリーン ILC 等受け入れ態勢整備・準備活動に積極的に参画する。

(4) 広報活動

■経済団体機関誌による ILC の広報活動「ILC current topics」

■ホームページの改修

■ILC 啓発グッズ、「ILC そばっち」の活用

■YouTube 等 SNS ツールの活用

(5) 組織強化活動

■ILC 誘致実現にむけた活動を強化するため、当推進協議会の会員増に努める。

■先端加速器科学技術推進協議会（AAA）、東北 ILC 推進協議会等と産学官連携の強化を図る。

(6) 諸会議等

■役員会・幹事会の開催

令和4年度 岩手県国際リニアコライダー推進協議会 収支予算(案)

自)令和 4年 4月 1日

至)令和 5年 3月31日

■収入の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備 考
1. 会費	11,130,000	10,650,000	480,000	
(1)法人会費	10,860,000	10,400,000	460,000	489会員/543口
(2)個人会費	270,000	250,000	20,000	50会員/54口
2. 負担金	500,000	500,000	0	@100,000×経済5団体
3. 雑収入	2,121,932	354,233	1,767,699	東北ILC事業推進センター負担金一部返還、祝賀会会費等
4. 繰越金	14,198,068	10,815,767	3,382,301	
合 計	27,950,000	22,320,000	5,630,000	

■支出の部

(単位:円)

項 目	本年度 予算額	前年度 予算額	対比増減(△)	備 考
1. 事業費	20,150,000	17,450,000	2,700,000	講演会等開催費(年3回開催):350万 AAA等ILC推進団体共同プロジェクト負担金:300万 AAA等ILC推進団体調査事業旅費等:200万 文化功労者祝賀会開催費:170万 ILCグッズ作成等事業費:150万 東北ILC事業推進センター負担金:150万 HP管理・改修費(日本語・英語):150万 ILCオープンラボ施設拡充負担金:100万 要望関連旅費:70万 英語版ILCガイドラインシリーズ7:40万 イベント関連費:40万 事業報告書等印刷費:30万 関係団体諸会費:15万 国内外イベント等事業予備費:250万
2. 会議費	300,000	300,000	0	役員会・幹事会開催費
3. 事務費	1,800,000	1,750,000	50,000	
(1)旅費	100,000	50,000	50,000	関係団体総会・役員会等旅費
(2)印刷費	200,000	200,000	0	資料コピー代、封筒代ほか
(3)通信運搬費	300,000	300,000	0	広報物・事業報告書等配送料
(4)事務委託料	1,200,000	1,200,000	0	事務委託料
4. 雑費	150,000	150,000	0	振込手数料、消耗品ほか
5. 予備費	5,550,000	2,670,000	2,880,000	
合 計	27,950,000	22,320,000	5,630,000	